

脳神経外科専門医プログラム

定員
4名



プログラム責任者
脳神経外科学講座
清水 宏明 教授

**専門研修
担当者
連絡先**
小野 隆裕 助教
TEL.018-884-6140 FAX.018-836-2616
E-mail t.ono@med.akita-u.ac.jp
HP <http://www.med.akita-u.ac.jp/~noushin/>



脳神経外科ハンズオンコース
(皮膚縫合、糸結び、顕微鏡下パイパス、血管内コイル塞栓術など)

プログラムの特徴

脳神経外科が扱う領域は脳腫瘍、脳血管障害(脳卒中)をはじめ頭部外傷、機能的疾患(てんかん、三叉神経痛、顔面けいれん) 脊髄脊椎など多岐に及び、外科治療のみならず薬物療法、リハビリなどを含め、入院・外来を通じて患者さんを全人的に診療します。未知の領域が多い脳神経は研究面でも興味が尽きません。これらのどの分野にどう力を注ぐか、医師の人生のその時々々の状況に合わせ様々なキャリアパスを形成できる診療科といえます。秋田大学プログラムでは大学病院と県内外の関連施設とが連携しこれらの幅広い領域を研修します。

1. 秋田大学は、秋田県の脳腫瘍のセンターとして、手術、定位放射線治療、化学療法などを他科と協力して行います。術中迅速病理診断やHeidelberg大学と共同で最新の分子生物学的病理診断の研究も特徴的です。脳血管障害・脳卒中・頭部外傷では救急部、循環器内科と密接な連携のもと、開頭手術と血管内手術を組み合わせた最先端治療を行います。
2. 2018年5月に脳卒中包括医療センターが設置され脳卒中の内外科総合診療の基盤ができました。また、新設の「総合神経系研修コース」を初期研修中や後期研修1年目に選択し、脳外科、神経内科、神経病理などを実際に経験したあと専門科を選ぶことも可能です。
3. 県内関連病院は各地域の要として脳神経外科全般の診療にあたりつつ、病院ごとの得意分野を明確にし役割分担と協働を進めています。
4. 東北大学・北里大学では、脳腫瘍、血管内治療、小児脳外科などや研究領域で先端的な経験をするとともに、異文化交流を行います。
5. 本プログラムでは下記の「秋田大学脳神経外科の理念」に賛同する医師の参加を歓迎します。

●「臨床理念」

- 患者人生を第一とした医療を行う。
- 秋田県地域医療の中核としての自覚をもち役割を果たす。
- 患者・医療者ともに満足できる医療を行う。

●「教育理念(目指す医師像)」

- 倫理感・責任感・正直・誠意・模範・情熱において正しくプロフェッショナルである人格に優れた医師
- 知見と経験から学び、自律的・能動的に成長する医師
- 患者を含む多職種コミュニケーションのまともな役となる医師
- 組織や社会的・経済的側面に配慮できる医師

●「研究理念」

- 臨床に根ざし臨床に還元することを念頭に、真摯に研究を行って情報を発信するとともに、広く問題解決能力を養う。

プログラムの説明

秋田大学専門医研修プログラムは大学病院を基幹病院とし、下記の8つの連携施設と6つの関連施設から構成しています。

これらをローテーションすることで、脳神経外科専門医受験資格である幅広い領域の研修要件を満たし、後期研修5年目夏の専門医取得を目指します。

同時に本プログラムでは専門医取得後の医師としての基盤となるべき患者第一の思考感覚、日常的な問題解決能力、自身を取り巻く環境改善、他者とのコミュニケーションなどについても、臨床、研究、カンファレンスを通じて養うことに努めています。

また、後期研修に入る時点で脳神経系に興味があるが、具体的な科を決めかねている初期研修医向けに、初期研修中や後期研修一年目に脳外科、神経内科、病理、基礎系などから希望の科を实地研修できる「総合神経系研修コース」を新設しました。このコースを経ても脳外科専門医取得までの期間が延長することはありませんので興味ある方は是非ご相談ください。

専門医、指導医、出身地、施設認定、本プログラム構成施設

■脳神経外科学会専門医8名、神経内科学会専門医1名、脳卒中学会専門医4名、脳神経血管内治療専門医1名、がん治療暫定認定医1名
これらの専門医を取得するための施設認定を受けています。

■上記医師の主な出身大学・高校

秋田大学、東北大学、日本大学等
秋田高校、安積(福島)、福岡(岩手)、四条畷(大阪)、新潟、日大東北(福島)、伊奈北(長野)等

■本プログラム構成施設

連携施設: 秋田厚生医療センター、市立秋田総合病院、由利組合総合病院、大曲厚生医療センター、平鹿総合病院、雄勝中央病院、市立角館総合病院、大館市立病院

関連施設: 秋田労災病院、中通総合病院、秋田県立脳血管研究センター、東北大学病院、北里大学病院、庄内余目病院

脳神経外科専門医取得のキャリアパス例

研修コース例	初期研修1年目	初期研修2年目	後期研修1年目	後期研修2年目	後期研修3-4年目	後期研修5年目(卒後7年目)	後期研修6年目(卒後8年目)	
1 脳外科専門医通常コース	脳外科や総研等のローテート可		脳外科・脳卒中セ	脳外科・脳卒中セ	脳外科・脳卒中セ	8月に専門医	脳外科・脳卒中セ subspecialty 研修	・左記は一例です。他にも希望により様々な方法が可能ですので、相談ください。 ・神経系各科のどれを選択するか決めかねている人や、決めていないが他の領域の専門的な研修をしてから専門科に専念したいという人は、総合神経系研修(総研研)を検討ください。脳神経外科、神経内科、脳卒中包括医療センター(脳卒中セ)、リハビリ科、病理、基礎教室などを自由な数と期間、組み合わせで研修でき、目指す専門医の取得までの期間が遅れないよう計画できます。初期研修中の選択として利用することや、総研研修終了後、神経内科など脳外科以外を専攻することも可能です。 ・脳血管内治療専門医などの subspecialty は後期研修2-3年目に当該学会に入会し、脳神経外科専門医取得の1-2年後に受験。 ・初期研修2年目に大学院入学が可能。学位取得から専門医試験まで余裕ができる。 ・脳卒中内科の専門家を目指す場合は、脳外科または神経内科に所属して専門医取得後、脳卒中セでの診療に従事する。
2 総合神経系研修(総研研)利用コース	脳外科や総研等のローテート可	総研研の例: 脳外3M、神内3M、脳卒中セ3M、リハ3M、など。	脳外科・脳卒中セ(神経内科等への変更も可能)	脳外科・脳卒中セ	8月に専門医	脳外科・脳卒中セ subspecialty 研修		
3 早期学位コース	大学院入学	脳外科・脳卒中セ	脳外科 学位取得(最短の場合)	脳外科・脳卒中セ	8月に専門医	脳外科・脳卒中セ subspecialty 研修		
	脳外科や総研等のローテート可	早ければ後期研修2年目に学位取得。以後は脳外科専門医や subspecialty に注力。						